

事業名	周産期医療システム推進費			調査番号	34
細事業名	周産期救急情報システム運営事業費	財務コード	457602		
担当部課室	福祉保健 部	医務 課	医療企画 担当 (内線)	3408	

事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	異常や緊急事態により、救急搬送が必要な母体や胎児・新生児	最適な医療を提供するため、適切な搬送体制が構築されている
結果、何に結びつけるのか		
産科・小児科の一貫した総合医療体制と、適切な搬送体制の構築		
内容	<p>○事業概要</p> <p>分娩を取り扱う、地域の周産期医療機関(病院)にFAXを設置し、分娩を取り扱う医療機関の当直情報等の収集・整理や、搬送される医療機関間の空床情報の共有化を図り、緊急時において医師同士が連絡できるような体制を確保し、円滑な患者の受入等を目指す。</p> <p>○具体的事業内容</p> <p>(1)分娩取扱医療機関9施設にFAXを設置し、通信料及び賃貸借料を負担。当該FAXにより、空床情報や当直情報を定期的に情報交換する。</p> <p>(2)母体及び新生児が搬送を要する際には、搬送要請医療機関が母体・新生児の搬送情報提供書を受け入れ医療機関にFAXす</p>	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	目標	310	310	310	310	310	310	350
	実績(見込)	253	350.0	326.0	315.0	311.0	311.0	
	達成率	81.6	112.9	105.2	101.6	100.3	100.3	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円			783	732	732	732	733	437

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価
成果指標		
<p>本事業は、妊娠母体、分娩の異常、胎児・新生児の異常や緊急事態において、最適な医療を提供することを目的とし、適切な搬送体制の整備をするものであるため、目標とすべき定量的な指標はない。当該事業により、分娩取扱医療機関が平時から連携を図ることができおり、このことが、全体的な安心して子どもを産み育てる環境整備に繋がっている。</p>		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	本事業は緊急時における、円滑な患者の受入や適切な搬送体制を整備するものであるため、定量的な成果指標はないものの、情報の収集・連携体制を定期的に見直し、課題点等を洗い出し、改善することで成果向上はある程度可能であると考え。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度あり	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	今後の社会背景として、出産年齢の高齢化に伴い、ハイリスク妊産婦が増加する懸念がある。そうした状況を踏まえ、より分娩取扱医療機関が情報を交換する体制等を効率的且つ円滑なものとしていくべきである。本県の周産期医療提供体制を協議する場である、周産期医療協議会において、より効果的な周産期救急情報システムの運営方法について、議論していき、組織間連携や業務の簡素化を図っていくこととする。		

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	・30年度は、分娩取扱を再開する都留市立病院にもシステムを設置する。 ・周産期医療協議会において、より効果的な周産期救急情報システムの運営方法について、議論していき、組織間連携や業務の簡素化を図っていくこととする。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。